

秘
農林水産省

統計法に基づき基幹統計
農業経営統計



政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査情報の秘匿性の確保に万全を期します。

農業経営統計調査

○年 牛乳生産費統計調査票

この調査は、農林水産省が統計法に基づき基幹統計調査として実施するものです。
また、この調査票は統計の目的のみに使用するもので、記入いただいた個別の結果を、外部への提供や課税のための資料に利用することはなく、統計以外の目的には使用しません。

【記入上の留意事項】 ◇オンライン調査も可能です。

- 年1月1日～○年12月31日までの1年間について記入してください。
- 調査項目欄には、右づめで記入してください。
- 黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムで消してください。
- オンラインで回答される場合は、同封の「経営統計調査オンラインシステム操作手順書」に従って回答してください。

★数字は枠からはみ出さないように記入してください。

記入見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

★○印は記入見本を参考に記入してください。

記入見本	①
------	---

ご不明な点がございましたら、次の問合せ先までご照会ください。

【問合せ先】

2020センサス 番号	都道府県	市区町村	旧市区 町村	農業集落	調査区	客体番号

調査にご協力いただき、ありがとうございます。
調査票に記入いただく前に、以下についてお読みください。

この調査は、「生乳の生産コスト」を把握する調査です。
調査票には、○年1月1日～○年12月31日の間に、次の牛の飼育に要した経費や労働時間等について記入をお願いします。

- ① 搾乳牛・・・ホルスタイン等の乳用牛の雌（経産牛）
- ② 子牛・・・搾乳牛から生まれた、生後10日齢までの子牛
- ③ 育成牛・・・将来、搾乳牛として育成する乳用牛の雌（後継牛）

→ 調査では、これらの牛を「調査対象畜」といいます。

【調査票の記入方法（調査対象畜負担割合について）】

調査票の各項目には、調査対象畜の飼育のために使用した経費等を記入してください。

例えば、調査対象畜（酪農）と合わせて肥育牛を飼育している場合には、調査対象畜分の経費等を分けて記入いただく必要があります。調査対象畜分がわかる場合には下の記入例1を、わからない場合には下の記入例2を参考に記入してください。

～～～ 配合飼料の記入例 ～～～

●記入例1 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できる場合

調査対象畜に140 t、7百万円の配合飼料を給与した場合、数量に140 t、金額に7百万円を記入し、調査対象畜負担割合を100%と記入してください。

区 分	数 量	単位	金 額（円）	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	140	t	7000000	100

●記入例2 調査対象畜（酪農）分の給与量・金額を記入できない場合（調査対象畜以外を含む経営全体の給与量・金額しかわからない場合）

経営全体で200 t、1千万円の配合飼料を給与した場合、数量に200 t、金額に1千万円を記入し、調査対象畜負担割合には、経営全体に占める調査対象畜の割合を記入してください。

区 分	数 量	単位	金 額（円）	調査対象畜負担割合
配 合 飼 料	200	t	10000000	

記入に当たり、右頁を参照してください。

【調査対象畜負担割合の設定方法】

調査対象畜負担割合について、調査対象畜（酪農）以外の家畜を飼育している場合の設定方法を説明します。（※ここでは、搾乳牛と肥育牛を飼育している事例で説明します。）

（1）配合飼料の場合

経営全体の家畜（搾乳牛+肥育牛）の飼養頭数のうち、搾乳牛の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{搾乳牛の飼養頭数}}{\text{経営全体の家畜の飼養頭数}} \times 100$$

例：経営全体の家畜の飼養頭数が30頭で、うち搾乳牛が21頭、肥育牛が9頭の場合の調査対象畜負担割合は70%（21頭÷30頭×100）になります。

（2）畜舎の場合

畜舎の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した畜舎の面積}}{\text{畜舎の全面積}} \times 100$$

例：畜舎全体の面積が300㎡で、うち調査対象畜（酪農）に240㎡、肥育牛に60㎡をそれぞれ使用している場合の調査対象畜負担割合は80%（240㎡÷300㎡×100）になります。

（3）農機具（トラクター）の場合

トラクターの全使用日数のうち、調査対象畜の飼育のために使用した日数の割合を「調査対象畜負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した日数}}{\text{トラクターの全使用日数}} \times 100$$

例：経営全体のトラクターの使用日数が150日で、うち調査対象畜に60日、調査対象畜以外に90日

◎調査項目によっては、調査対象畜負担割合のほか「自給牧草負担割合」を記入いただきます。以下を参考に記入してください。

（4）倉庫の場合

倉庫の全面積のうち、調査対象畜（酪農）の飼育のために使用した面積を「調査対象畜負担割合」、自給牧草の生産のために使用した面積の割合を「自給牧草負担割合」とします。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

$$\text{自給牧草負担割合} = \frac{\text{自給牧草に使用した倉庫の面積}}{\text{倉庫の全面積}} \times 100$$

例：倉庫全体の面積が150㎡で、うち調査対象畜に45㎡、自給牧草に75㎡を使用した場合の「調査対象畜負担割合」は30%（45㎡÷150㎡×100）、「自給牧草負担割合」は50%（75㎡÷150㎡×100）になります。
<倉庫（150㎡）の負担割合のイメージ図>

倉庫全体（150㎡）		
調査対象畜の飼料置き場 (45㎡)	自給牧草生産用の農機具の保管場所 (75㎡)	その他 (30㎡)
調査対象畜負担割合：30% 自給牧草負担割合：50%		

調 査 事 項

	ページ
【1】経営の概況	3
経営耕地の状況、世帯員や農業就業者の人数等を記入してください。	
【2】生産物の販売等の状況	4
生乳生産量及び生乳、子牛の販売状況等を記入してください。	
【3】調査対象畜の生産に使用した資材等	7
飼料、軽油、ガソリン、電力料等の光熱動力費、獣医師料及び医薬品費、 農機具借料や牛乳検査料等の賃借料・料金等を記入してください。	
【4】物件税及び公課諸負担	11
固定資産税等の物件税、農業協同組合費や家畜共済組合賦課金等の公課 諸負担を記入してください。	
【5】消費税	11
消費税申告書により申告した消費税を記入してください。	
【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子	11
借入金残高、支払利子を記入してください。	
【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況	12
建物・構築物の所有状況を記入してください。	
【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況	13
自動車等の所有状況を記入してください。	
【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況	14
農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況を記入してください。	
【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等	15
スコップ等の農具、作業着等の被服類、コピー用紙等の消耗品等の購入費、 通信費や集会参加費等を記入してください。	
【11】搾乳牛等の所有状況	16
搾乳牛及び子牛等の転入又は転出の異動状況を記入してください。	
【12】作業別労働時間	16
家族、雇用別の労働時間、雇用者に支払った賃金を記入してください。	
【13】地代（所有地及び借入地）	17
地代を記入してください。	
【14】乳用牛の月齢別の飼育経費	17
搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛の飼育に要する経費や 労力の割合を乳用牛の月齢ごとに記入してください。	

【1】経営の概況

1 経営耕地

農業経営に利用している耕地の状況を記入してください。

区 分	所有地（a）	借入地（a）
田	ha a	ha a
普 通 畑	ha a	ha a
樹 園 地	ha a	ha a
牧 草 地	ha a	ha a

2 世帯員数と農業就業者数等

世帯員、農業就業者、農業年雇の人数について、男女別に記入してください。

区 分	用語の説明	男（人）	女（人）
世 帯 員	世帯主と血縁又は姻戚関係になくとも一緒に住み、かつ 生計をともにしている者（住み込みの年雇等を含む。）		
家 族	夫婦とその血縁関係者を中心に構成され、共同生活の単 位となる集団（15歳未満を除く。）		
農 業 就 業 者	年間の農業労働日数が60日以上の方		
150 日 以 上	年間の農業労働日数が150日以上の方		
農 業 年 雇	農業経営のためにおおむね年間（7か月以上）を通じて 雇った者		

注：農業労働日数は、1日＝8時間を目安にしてください。

3 認定農業者の状況

認定農業者はいますか。
該当を○で囲んでください。

いる	いない
----	-----

通信欄（農業に関する何を何でもお書きください。）	
--------------------------	--

【2】生産物の販売等の状況

1 生乳

生乳の生産量等を月別に記入してください。

ただし、1年分の生産量等をまとめて記入できる場合には、1月分の記入欄に年間計を記入してください。

乳脂肪生産量 (kg) や無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合には、乳脂肪分率 (%) や無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

また、「価額」には、乳代、加工原料乳生産者補給金等の補助金、販売手数料及び集乳経費を記入してください。

1月分（または年間計）

区 分	数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出 荷 (乳 代)		控除前の生乳代金 (消費税を含む。)
	補給金等		加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販 売 手 数 料		農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費		メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り		消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与		
	自家消費		
	計		
乳 脂 肪 生 産 量			⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量			⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

3月分

区 分	数 量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	
	補給金等	
	販 売 手 数 料	
	集乳経費	
	小 売 り	
	子牛給与	
	自家消費	
	計	
乳 脂 肪 生 産 量		⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量		⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

2月分

区 分	数 量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	
	補給金等	
	販 売 手 数 料	
	集乳経費	
	小 売 り	
	子牛給与	
	自家消費	
	計	
乳 脂 肪 生 産 量		⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量		⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

4月分

区 分	数 量 (kg)	価 額 (円)
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	
	補給金等	
	販 売 手 数 料	
	集乳経費	
	小 売 り	
	子牛給与	
	自家消費	
	計	
乳 脂 肪 生 産 量		⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量		⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

5月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販 売 手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

7月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

6月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

8月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
	計			
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

9月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	内 容
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	控除前の生乳代金（消費税を含む。）
	補給金等			加工原料乳生産者補給金等の補助金
	販 売 手 数 料			農協や指定団体へ支払った手数料
	集乳経費			メーカーに引き渡されるまでの集送乳経費
	小 売 り			消費者に小売りした生乳の金額
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

子牛給与及び自家消費の数量からは、分べん後5日以内の初乳分を除きます。

小数点以下第2位まで記入してください。

11月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

10月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

12月分

区 分		数 量 (kg)	価 額 (円)	
実搾乳量	出 荷 (乳 代)	万 千 百 十	万 千 百 十	
	補給金等			
	販 売 手 数 料			
	集乳経費			
	小 売 り			
	子牛給与			
	自家消費			
計				
乳 脂 肪 生 産 量				⇒乳脂肪生産量 (kg) がわからない場合、乳脂肪分率 (%) を記入してください。
無 脂 乳 固 形 分 生 産 量				⇒無脂乳固形分生産量 (kg) がわからない場合、無脂乳固形分率 (%) を記入してください。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

2 子牛

1年間に搾乳牛から生まれた子牛のうち、死産等により「牛トレーサビリティ」（耳標番号）を登録しなかった子牛の頭数を品種別に記入してください。

区 分	乳用種		交雑種（F1）		黒毛和種（受精卵移植）	
	雄	雌	雄	雌	雄	雌
耳標番号を登録していない子牛の頭数（頭）						

3 きゅう肥の利用状況

1年間に畜舎から搬出したきゅう肥について、用途別に割合を記入してください。

総搬出量の割合（％）	きゅう肥の総量を100%とした場合の「販売用」、「自家利用」、「廃棄」の各割合を記入してください。（販売用、自家利用、廃棄の合計が100になるように記入。）		
	販売用	自家利用	廃棄
100			

「販売用」に該当がある場合、その販売金額を記入してください。

販売金額（円）

物々交換した場合は、きゅう肥との交換により受け取った品目の数量を記入してください。

物々交換した場合		
品目名 （具体的に記入）	数量	単位

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等

1 購入飼料

1年間に調査対象畜に給与した購入飼料について、給与数量及び購入金額を記入してください。（自給飼料は、8ページに記入してください。）

・「数量」、「金額」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。

・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$

区 分	数 量	単位	金 額（円）				調査対象畜負担割合
			万	千	百	十	
穀 類	大 麦						
	そ の 他 の 麦						
	とうもろこし						
	大 豆						
	飼 料 用 米						
雑 糧	その他の穀類						
	い ん げ り						
	米 麦 め か						
	そ の 他 の						
	ぬ か ふ す ま 類						
植 物 性 飼 料	大 豆 油 か す						
	ビ ー ト パ ル プ						
	そ の 他 の						
	植 物 性 か す 類						
	配 合 飼 料						
牛 乳 類	T M R （粗飼料、濃厚飼料、ミネラル等の混合飼料）						
	牛 乳 脱 脂 乳						
	い も 類 及 び 野 菜 類						
	わ ら 類						
	稲 わ ら （その他のわら類 （麦わら等）						
生 牧 草	生 牧 草						
	乾 牧 草						
	ヘ イ キ ュ ー プ						
	そ の 他 の 乾 牧 草						
	い ん げ り 科 （稲発酵粗飼料を除く）						
サイ レ ー ジ	稲 発 酵 粗 飼 料						
	そ の 他 の						
	サイ レ ー ジ						
	上 記 以 外 の 購 入 飼 料						

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

2 自給飼料

(1) 家畜に給与する目的で栽培した作物

家畜に給与する目的で栽培し、1年間に調査対象畜に給与した自給飼料について、給与数量を給与形態別（生牧草、乾牧草、サイレージ）に記入してください。
また、自給飼料の生産状況には、作付面積、収穫量及び給与割合を記入してください。

【調査対象畜負担割合について】

- ・「数量」に調査対象畜への給与分のみを記入する場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外への給与分を含めて記入する場合には、次のとおり牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

$$\text{調査対象畜負担割合} = \frac{\text{調査対象畜の飼養頭数}}{\text{全体の飼養頭数}} \times 100$$

収穫量は、収穫時の重量（乾燥等の調製をする前の生重量）です。

区 分	自給飼料の例示	生 牧 草 (生の状態で給与するもの)			乾 牧 草 (乾燥させて給与するもの)			サイレージ (発酵させて給与するもの)			左記の牧草の生産状況		
		数 量	単位	調査対象畜負担割合	数 量	単位	調査対象畜負担割合	数 量	単位	調査対象畜負担割合	作 付 面 積	収 穫 量	単位
いね科	デントコーン												
	イタリアンライグラス												
	ソルゴー												
	稲発酵粗飼料	WCS：ホールクroppサイレージ											
	そ の 他	オーチャードグラス、チモシー、ライ麦、えん麦等のいね科の牧草											
まぜまき	いね科が主	オーチャードグラス、チモシー等のいね科牧草がメインのまぜまき牧草											
	そ の 他	アルファルファ等のまめ科牧草がメイン、又はいね科とまめ科の折半の牧草											
その他の牧草		アルファルファ、クローバー等のまめ科の牧草、飼料かぶ、家畜ビート等											
穀 類		とうもろこし、小麦、大豆、飼料用米等の穀類											
いも類及び野菜		かんしょ、いもづる等											
野生草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、生のまま給与するもの											
野 乾 草		採草地等の耕地以外の土地から収穫し、乾燥させて給与するもの											
放 牧 時 間 (放 牧 場)		放牧場における放牧時間											

(2) 家畜に給与する目的以外で栽培した作物

食用等の家畜に給与する目的以外で栽培し、1年間にたまたま調査対象畜に給与した作物について、給与数量を記入してください。

「家畜に給与する目的以外で栽培する作物」の給与例

- ・販売目的で栽培した小麦をたまたま調査対象畜に給与
- ・食用目的で栽培したさつまいもをたまたま調査対象畜に給与 など

生産した牧草のうち、調査対象畜に給与した牧草の割合を記入してください。

	％
--	---

- ・自給飼料の全量を調査対象畜に給与した場合には「100」としてください。
- ・調査対象畜以外にも給与した場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜への給与割合を記入してください。
- ・調査対象畜に給与するほか、販売（又は廃棄）した場合には、全量のうち調査対象畜への給与分の割合を記入してください。

作物名 (具体的に記入)	数 量	単位	調査対象畜負担割合
	万 千 百 十		％

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

3 種付料

- (2) 自家で飼育する種雄牛による延べ種付回数を記入してください。

(1) 購入

1年間に使用した購入敷料の金額を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。
 また、敷料を物々交換により入手した場合は、交換した品目名と数量を記入してください。

黒毛和種の種付け（F１）や黒毛和種の受精卵移植（EＴ）を含みます。

種付料金
（円）

	万	千	百	十

延べ種付回数
（回）

	万	千	百	十

物々交換した場合					
品目名 (具体的に記入)	数量				単位
	万	千	百	十	

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合に「00」としてください。
- ・調査対象畜以外への使用分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に使用した自給敷料の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

資材名（具体的に記入）	使用数量				単位	調査対象畜 負担割合
	万	千	百	十		
						%

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

5 光熱動力費

(1) 購入

1 年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の購入金額（料金）を、黄色の「計」の欄に記入してください。

なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調 査 対象畜	自給牧畜
計	万 千 百 十		
重 油			
軽 油			
灯 油			
ガソリン			
水道料			
電力料			
その他			

- ・「金額」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

(2) 自給

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した光熱動力の数量を記入してください。
「資材名」欄は具体的に記入してください。

[illegible]

注：記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します

【自給で使った燃料の例】 薪、木炭 など

【3】調査対象畜の生産に使用した資材等（続き）

6 獣医師料及び医薬品費

1年間に調査対象畜の治療や衛生管理のために支払った料金等を、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	調査対象畜 負担割合	獣医師料及び医薬品費の例示
計			
獣 医 師 料			獣医師に支払った診療代 (投薬、注射等の代金を含む。)
疾 病 共 済 掛 金			家畜共済掛金のうち「疾病傷害共済掛金」(病傷部分)
医 薬 品 費			牛に直接使用した医薬品及び衛生薬品
その他医療費等			上記以外の医療・衛生費、倉庫の消毒剤、ミルクカーの洗剤費用等

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「100」としてください。
 ・調査対象畜以外の支払い分を含めて記入する場合には、牛の飼養頭数割合を目安に調査対象畜の負担割合を記入してください。

7 賃借料及び料金

1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために支払った賃借料や料金について、黄色の「計」の欄に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)		賃借料及び料金の例示
		調 査 対象畜	自給牧草	
計				
共 同 負 担 金				共同放牧場(育成牛の放牧料は除く。)、共同採草地など共同施設の負担金、利用料金
農 機 具 借 料				農機具のリース料
牛 乳 検 査 料		100		義務付けられている検査(結核、ブルセラ病等)に要した費用
削 蹄 料				
疾 病 の 検 査 料				
乳用牛群検定料		100		建物の賃借料、コントラクター料金、作業委託料
そ の 他				

・「金額」に調査対象畜の支払い分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草の支払い分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他の支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの利用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

8 草地費（草地開発事業の負担金、土地改良事業の負担金）

1年間に草地開発や土地改良のために支払った負担金及び償還金を合わせて記入してください。

草地開発事業の負担金 (円)				土地改良事業の負担金 (円)			
草地造成事業		草地整備事業		事業番号 ()	事業番号 ()	事業番号 ()	

① ほ場整備事業、② 農地開発事業、③ かんがい排水事業、④ 農道(牧道)整備事業、⑤ その他の整備事業

・「金額」や「使用数量」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
 ・調査対象畜、自給牧草、その他への使用分をまとめて記入する場合には、それぞれの使用割合により「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

9 その他の資材等

前記1～8以外で、1年間に調査対象畜又は自給牧草の生産のために使用し、購入資材の金額及び自給した資材の数量を、黄色の欄に記入してください。
 また、「資材名」欄には、資材の詳細を具体的に記入してください。
 なお、内訳欄を利用して「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

資 材 名 等	数 量	単位	金 額 (円)	負担割合 (%)	
				調 査 対象畜	自給牧草
計					
購 入					
自 給					

注：自給については、記入の数量を基に担当者が市価評価により金額を計算します。

【調査対象畜に使用した資材例】
 ロープ、縄、ビニール・シート、ハエ取り紙 など

【自給牧草の生産に使用した資材例】
 牧草の種子、肥料、諸材料、農薬、きゅう肥(購入・自給) など

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した建物等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得（新築）した場合は、該当建物等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合又は構造コードが「その他」の場合に記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当建物を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用面積}}{\text{経営全体の使用面積}} \times 100$

番号	名 称 等	種 類 コ ー ド	構 造 コ ー ド	延べ面積 (㎡) 又は 施設数 (基)	新古 区分		耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 〔 購入金額から補助金分を控除 した額を記入してください。 〕	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円) 〔 建物等の取得のために 取り崩した準備金の額を 記入してください。 〕	修 繕 費 (円) 〔 当年の当該建物等の修繕 費を記入してください。 〕	保 險 料 (円) 〔 当年の当該建物等の 災害保険料を記入して ください。 〕	負担割合 (％)		異 動 コ ー ド	年内異動状況	
					新 築	中 古		年 (西暦)	月					調 査 対 象 畜	自給 牧草		異動に伴う発生金額 (円) 〔 売却金額、取り壊しの金額 〕	
1				千 百 十				年 月 日	億 万 千 百 十		万 千 百 十		万 千 百 十					万 千 百 十
2																		
3																		
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																		
10																		
11																		
12																		
13																		
14																		
15																		

種類コード			
建築物			
1 住宅	5 畜舎・フリーストール	9 たい肥舎・たい肥盤	
2 事務所	6 畜舎・フリーストール以外	10 乾牧草収納庫	
3 納屋・倉庫	7 クーラー室	13 その他の建築物	
4 作業場	8 車庫		
構築物			
20 牧 柵	24 飼料用タンク	29 プラスチックハウス利用乾燥施設	
21 電気牧柵	26 ふん尿貯留槽	30 その他のふん乾燥施設	
22 給水配管・パイプ	27 浄化処理施設	31 その他の構築物	
23 サイロ	28 脱臭施設		

構造コード			
建築物			
(1 住宅) ～ (13 その他の建築物)			
1 木 造	6 木造モルタル	9 鉄骨格材の肉厚3mm以下	
2 合成樹脂造	7 金 属	10 鉄骨格材の肉厚3～4mm	
3 鉄筋コンクリート	8 そ の 他	11 鉄骨格材の肉厚4mm以上	
4 コンクリートブロック			
構築物			
(20 牧柵) ～ (31 その他の構築物)			
1 コンクリート、れんが、石、ブロック	2 金 属	5 合 成 樹 脂	
	3 木 造	6 塩 化 ビ ニ ール	
	4 土 管	7 そ の 他	

異動コード	
1	取り壊し
2	部分取り壊し
3	売却

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 畜舎、飼料倉庫等の建物の壁や屋根の修繕費
- ・ 畜舎等の電灯の取替え、防鳥網の張替えの費用
- ・ パンカーサイロのビニールの張替え費 など

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した自動車等の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、該当自動車等の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・該当自動車を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

番号	名称等	種類コード	型式コード	新古区分 新品 中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) (購入金額から補助金を控除した額を記入してください。)	修繕費 (円) (当年の当該自動車等の修繕費を記入してください。)	自動車保険料 (円) (当年の当該自動車等の保険料を記入してください。)	自動車・軽自動車税 (円) (当年の当該自動車等の自動車税又は軽自動車税を記入してください。)	当年、車検を受けた自動車等について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額 (円) (廃棄(無償譲渡を含む。)した場合は、「0(ゼロ)」)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	

種類コード		型式コード			
1	貨物自動車	(1 貨物自動車)		(2 その他の自動車)	
2	その他の自動車	軽自動車		1 軽自動車	
		2 普通自動車 (ダンプ式)		2 普通自動車	
		3 普通自動車 (ダンプ式以外)		3 自動二輪・三輪	

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・自動車(バイクを含む。)の修繕や整備費用、部品代、車検料のうち整備費用、自動車付属品
- ・バッテリー・補充液
- ・洗車代、リサイクル料金 など

自動車保険料には、任意保険(対人・対物を除く車両分のみ。)の掛金を記入してください。

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【9】農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した農業機械、パソコンやコピー機等の生産管理機器の所有状況について記入してください。
なお、1年間で新たに取得した場合は、当該機械や機器の「名称等」欄～「負担割合」欄に記入してください。

くわ類・かま類の農具、
作業着・軍手等の農業被服
については、15ページに記
入してください。

【負担割合（調査対象畜、自給牧草）について】

- ・ 該当農業機械を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

調査対象畜負担割合 = $\frac{\text{調査対象畜の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$ 自給牧草負担割合 = $\frac{\text{自給牧草の使用日数}}{\text{経営全体の使用日数}} \times 100$

耐用年数は、中古で購入した場合のみ記入してください。

番号	名称等	種類コード	型式コード	新 品	中古	耐用年数 (年)	取得年月		取得価額 (円)	農業経営基盤 強化準備金 (円)	修繕費 (円)	保険料 (円)	軽自動車税 (円)	当年、車検を受けた車両について記入してください。		負担割合 (%)		年内異動状況	
							年 (西暦)	月						自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)	調査対象畜	自給牧草	異動コード	売却金額 (円)
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			

SAMPLE

種類コード					
5 農用トラクター	33 モーター	40 飼料粉碎機	47 バルクーラー	54 トレーラー	
6 ブラウ	34 カッター	41 飼料配合機	48 自動給餌機	55 運搬用機具	
7 ハロー	35 ベーラー	42 バンクリナー	49 ローダー	56 その他の農機具等	
8 マニウスプレッダー	36 集草機	43 ミルカー・バケット	50 バキュームカー	57 パソコン	
11 牧草は種機	37 他の牧草収穫機	44 ミルカー・パイプライン	51 ふん尿搬出機	58 その他の生産管理機器	
16 中耕除草機	38 積込機	45 搾乳ロボット	52 固液分離機		
17 動力噴霧機	39 搬送・吹上機	46 牛乳冷却器	53 自動給水機		

型式コード	
(56 その他の農機具等)	
1	その他・耐用年数3年
2	その他・耐用年数4年
3	その他・耐用年数5年
4	その他・耐用年数6年
5	その他・耐用年数7年
上記以外の農機具等	
6	その他

修繕費には、次のような費用を記入してください。

- ・ 農業機械の修繕、整備費用、部品代
- ・ パソコン等の修理費用、部品代 など

異動コード	
1	売却
2	廃棄等

【10】農具の購入費・生産管理関係の費用等

1年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用したくわ類やかま類、コピー用紙等の購入費等について、黄色の「計」の欄に記入してください。
なお、内訳欄を利用してそれぞれの「計」の内訳を記入する場合は、その合計が「計」となるよう記入してください。

- ・ 該当農具を調査対象畜のみに使用している場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草のみに使用している場合には「自給牧草」を「100」としてください。
- ・ 調査対象畜、自給牧草、その他に共通して使用している場合には、それぞれの使用日数の割合等を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

名 称 等	金 額 （ 円 ）	負担割合（％）				内 容 例 示	
		調 査 対 象 畜		自 給 牧 草			
(計)							【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、スコップ類、ホース、じょうろ、草かき、飼料桶等の購入費
農 具 ・ 農 業 被 服 等 の 購 入 費							【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費

[illegible]

1 農家団体コード（牛トレサ関係）

農家団体コード1	農家団体コード2	農家団体コード3

1年間に転入・転出した牛について、取引金額（購入額、売却額）を記入してください。
また、未経産牛（育成牛）を育成牧場へ預託している場合、育成牧場に預けた牛には「出」に、育成牧場から戻った牛には「戻」に○を記入してください。

[illegible]

1 酪農に関する定型作業

[illegible]

2 酪農に関する 1 以外の作業

ここには、集会出席・技術習得・簿記帳等の生産管理の時間、自給飼料（牧草等）の生産、建物・自動車・農機具の修繕の作業時間等を記入してください。

氏 名	性別	年齢	家族・雇用	作業名				
				()	()	()	()	()
				時間	時間	時間	時間	時間
	男(女)		家族(雇用)					
	男(女)		家族(雇用)					
	男(女)		家族(雇用)					
	男(女)		家族(雇用)					

3 支払賃金

区 分	金 額 (円)	負担割合 (%)	
		調査対象者	自給牧主
男	万 千 百 十		
女			

- ・「支払賃金」に調査対象者の飼養のための支払いの分を記入する場合には「調査対象者」を「100」、自給牧草の生産のための支払いの分を記入する場合には、「自給牧草」を「100」としてください。
- ・調査対象者、自給牧草、その他の雇用者への支払い分をまとめて記入する場合には、それぞれの労働時間の割合を目安に調査対象者又は自給牧草の負担割合を記入してください。

【13】地代（所有地及び借入地）

1 年間に調査対象畜及び自給牧草の生産のために使用した土地（所有地、借入地）について記入してください。
なお、所有地については「実面積」を、借入地については「実面積」及び「支払地代」を記入してください。

1 所有地

ほ 場 名	ほ場の例示	実面積	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
建 物 敷 地	畜舎、納屋、飼料倉庫及び牛乳の冷却槽などの建物及び構築物の敷地			
運 動 場	パドック、けい牧（柵のないところに牛を綱でつないで飼うこと。）に利用した土地			
牧 草 栽 培	牧草地及び飼料作物を栽培した耕地			
放 牧 地	耕地以外で調査対象畜の放牧に利用した土地			
採 草 地	耕地以外で過去 1 年間に調査対象畜用の野草を採草した土地			

2 借入地

ほ 場 名	実面積	支払地代（円）	負担割合 (%)	
			調 査 対 象 畜	自 給 牧 草
建 物 敷 地				
運 動 場				
牧 草 栽 培				
放 牧 地				
採 草 地				

・「実面積」又は「支払地代」に調査対象畜への使用分のみを記入する場合には「調査対象畜」を「100」、自給牧草への使用分のみを記入する場合には「自給牧草」を「100」としてください。
・調査対象畜、自給牧草、その他へ共通して使用している場合には、それぞれの使用面積の割合を目安に「調査対象畜」又は「自給牧草」の負担割合を記入してください。

【14】乳用牛の月齢別の飼育経費

搾乳牛（成牛）の飼育に要する経費や労力に対する後継牛（①生後11日未満の牛、②生後11日～6か月、③6～18か月、④18か月以上）の飼育に要する経費や労力の割合を記入してください。
なお、記入の仕方がわからない場合には、担当者にご相談ください。

1 飼料等

搾乳牛（成牛）に給与する飼料費を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に給与する飼料費の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する飼料費の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する飼料費}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する飼料費}} \times 100$

2 建物

搾乳牛（成牛）の飼育に使用する建物面積を「100」とした場合の、月齢別の後継牛に使用する建物面積の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を飼育するのに要する建物の面積を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を飼育するのに要する建物の面積の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する建物面積}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する建物面積}} \times 100$

3 飼育作業

搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間を「100」とした場合の、月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間の割合を記入してください。	搾乳牛	生後11日未満の牛 ①	生後11日～6か月 ②	6～18か月 ③	18か月以上 ④
	100				

搾乳牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間を「100」とした場合の、各月齢の後継牛1頭を1か月飼育するのに要する労働時間の割合を目安に記入してください。

【具体的な計算例】

各月齢別の後継牛の割合 = $\frac{\text{各月齢別の後継牛の飼育に要する労働時間}}{\text{搾乳牛（成牛）の飼育に要する労働時間}} \times 100$

調査は以上で終了です。ご回答いただき、ありがとうございました。